OCEAN BOWL 第24回プライベートフットボール

全日本選手権大会 東日本交流戦

Game Report

	1	2	3	4	TOTAL
川崎グリズリーズ	0	0	7	0	7
クウムスイーグルス	13	7	6	7	33

2018年2月12日晴天の中、富士通スタジアム川崎にて東日本交流戦が行われました。
クウムスイーグルスのリターンで試合開始、まずは得意のランプレイを展開させる、立て続けにファーストダウンを更新し、一気にレッドゾーンへ。#20葛西の連続ランプレイでさらにファーストダウンを更新しゴール前へ、最後は#46三島のダイブでTDを決める。TFPも決めてイーグルスが先制する。

次はグリズリーズの攻撃・・・と思いきや、イーグルスのキックが中途半端なところに落ち、グリズリーズがカバーしあぐねているところをイーグルスがリカバー、再びイーグルスの攻撃となる。

このシリーズで初めてパスを投げ、それがヒット、ゴール前5ヤードまで迫る、最後は#3剣持のランでTD、TFPはキック失敗で13-0と差を広げる。

ここでやっとグリズリーズのファーストシリーズとなるが、ランプレイでファーストダウンを更新するも、ファンブルもありドライブできず、パントとなる。

2Qに入り、イーグルスはランプレイを展開するが、反則もありファーストダウン更新1回でパントへ、グリズリーズは自陣23ヤードからの攻撃となるが、パーソナルファウルでハーフディスタンス、苦しいポジションとなる。さらに自陣ゴール前でファンブルしてしまい、それを#2笠井がリカバーしそのままエンドゾーンへ持ち込みTD。TFPもキック成功で20-0とさらにイーグルスがリードを広げる。

グリズリーズのリターンで試合再開、イーグルスはファーストダウン更新を許さずパントへ追い込む。パントは良く転がり、イーグルスは自陣26ヤードからの攻撃となる、イーグルスはプレイではゲインを獲得するも反則を連発し、結局ボールを進められずパント、グリズリーズは良いフィールドポジションを得るもののファンブルロストしてしまう。しかしイーグルスも得点には至らず前半終了。

グリズリーズのリターンで後半開始、グリズリーズは自陣30ヤードからの攻撃となるが、QBがファンブル、#18小野寺がリカバーし、本日3回目のターンオーバー。イーグルスは敵陣34ヤードで攻撃権を得る。

イーグルスは3回のランプレイでファーストダウンを更新できず、グリズリーズディフェンスが踏ん張ったと思われたがイーグルスが4thダウンギャブル、#46三島がダイブで中央突破し、そのままエンドゾーンまで走りきりTD、TFPはキック失敗で26-0となる。

イーグルスのキックはアウトオブバウンズとなり、グリズリーズは自陣35ヤードからのオフENSEをチョイス。QBランでファーストダウンを更新し敵陣に入るとイーグルスの反則もあってレッドゾーンへ、敵陣15ヤードで4thダウンへ追い込まれるがギャブルでこの試合初めてのパスを投げる、それが決まりゴール前4ヤードへ、最後は#2船木のランでTD、TFPも決め26-7とした。

続くイーグルスのリターン、好リターンを見せるも反則で自陣20ヤードからのオフENSE、ここはグリズリーズのディフェンスが踏ん張りパントへ。グリズリーズは攻撃権を得るもファーストダウンを更新できずパント

4Q、イーグルスもファーストダウンを更新できずパント、グリズリーズは自陣34ヤードからのオフENSE、3回の攻撃でファーストダウンを獲得できずギャブル、しかしパス失敗でイーグルスは敵陣40ヤードから攻撃権を得る。ランでじわじわ進みゴール前でギャブル。しかし得点には至らず、グリズリーズは自陣9ヤードからのオフENSEとなる。しかしグリズリーズは4回攻撃するもファーストダウンを更新できず、イーグルスに11ヤードからの攻撃権を与えてしまう。

イーグルスは#8谷田から#91扇へのパスTDを成功させ追加点をあげ、33-7とする。

最後グリズリーズは好リターンを見せるも、得点には至らずゲームセット

イーグルスは反則こそ多かったものの、ターンオーバーもなく、粘り強いランで大量に時間を消費し、ディフェンスは得点を与えたシリーズ以外はほとんどファーストダウン更新を許さず、ほぼ完勝といえる内容であった。